

# 2020 年度 活動報告書

美山木匠塾

2022.2.25

## 美山木匠塾 2020年度関連活動報告

2022.2.25

2020年度	活動実態	設計段階	実施内容	
2019年度	8-9月		8/31-9/2 ホームステイ (美山町・大野)	
	3月		2/21-2/22 カホンWS (美山町・大野)	
			2/22-3/1 mi-mok展 (美山町・大野)	
			3/19 カホン制作手順書の公開 (Facebook)	
	4月	フィールドサーベイ	4/7 <b>新型コロナ緊急事態宣言発令</b>	
	5月		5/8 木匠塾だより (美山町・大野)	
			5/25 <b>新型コロナ緊急事態宣言解除</b>	
	6月		6/6 えほんの読み聞かせ動画の公開 (Facebook)	
			6/22 木匠塾だより (美山町・大野)	
	7月		7/22 木匠塾だより (美山町・大野)	
8月	8/19 木材・塗料の回収及び戦没者慰霊 (美山町・大野)			
	8/22 木匠塾だより (美山町・大野)			
9月	9/17 木匠塾だより (美山町・大野)			
10月	10/15 木匠塾だより (美山町・大野)			
2020年度		基本計画・基本設計	11/7 京都府大新歓 (嵐山観光)	
	11月		11/15 高島市空き家LifeDesignコンペ (滋賀県・高島市)	
			11/18 木匠塾だより (美山町・大野)	
			11/26 2019年度活動報告会	
	12月		12/18 木匠塾だより (美山町・大野)	
			1/4 制作物案に関するアンケート (木匠塾だより・号外)	
	1月		実施設計・材料発注	1/14 <b>新型コロナ緊急事態宣言発令</b>
				1/22 木匠塾だより (美山町・大野)
				1/29 木工講習会・試作開始
	2月			3/3 木材 (見積り・発注)
3月	製作図作成	3/21 <b>新型コロナ緊急事態宣言解除</b>		
		3/22 木材搬入 (京都府大), 実製作の開始		
		3/22 木匠塾だより (美山町・大野)		
2021年度	4月	制作	4/10 <b>現地調査・ヒアリング：発熱者が複数いたため中止</b>	
			4/25 <b>新型コロナ緊急事態宣言発令</b>	
	5月		5/29 人間・環境学会第28会大会：口頭発表 (オンライン)	
	6月		6/20 <b>新型コロナ緊急事態宣言解除</b>	
		6/27 制作物の完成 (実働20日目)		
	7月	制作発表	7/3 木匠塾だより (美山町・大野)	
	8月		8/17 動画による制作発表 (美山町・大野)	
		制作物の引渡し	8/20 <b>新型コロナ緊急事態宣言発令</b>	
			9/19 2020年度作品の引渡し (美山町・大野)	
	9月		9/30 <b>新型コロナ緊急事態宣言解除</b>	
		9/7-10 日本建築学会大会 (東海)：寄稿		

## 2020 年度京都府立大学メンバー

1 年生 4 人, 2 年生 3 人, 3 年生 2 人, 4 年生 3 人, 修士 2 年生 1 人

代表幹事 (2020 年 4 月~2021 年 3 月): 和氣史佳 (2 年生)

(2021 年 4 月~5 月): 和氣史佳 (3 年生)

(2021 年 5 月~9 月): 大久保朋花 (3 年生)

塾長: 羽原康成 京都府立大学サークル顧問: 森田一弥 (京都府立大学准教授)

特別顧問: 松原斎樹 (京都府立大学特任教授), 戸田都生男 (ものづくり大学准教授)

## 2020 年度制作物概要

コロナ禍により地域との交流が絶たれたが, 外出自粛を強いられる住民の生活に寄り添える作品を模索した。そして, 住民の日常生活に役立つ木のものづくりとして, リモコンスタンドを企画・設計・制作した。制作物は, 金物を使わずに作品を美しく仕上げるための工夫をしている。壁の四隅と棟をトメ加工として, 竹ひごで接合している。壁は糸鋸で窓を開口し, 作品全体をヤスリで面取りをして丁寧に仕上げている。地域全住戸に制作物を配布するこの作品は, 建築系大学生による木を使ったものづくり活動において, 地域と団体という立ち位置での交流を, 個々の交流へと転換することを目指した新たなチャレンジであり, 住民を元気にする取り組みである。また, 炭素固定された木のものづくりの意義を住民に周知する機会にもなる。一方で, 京都府立大学校内で実施予定であった「mi-mok 展」は, コロナ感染拡大防止の観点から未実施となった。

## 広報

参加者は, 「小さな木の家」を作るワークショップを新入生に実施し (2021 年 5 月), 団体の勧誘を行った。京都府立大学の授業, 環境共生教育演習 I の一部において学生が活動を紹介した。地域に対しては, 「美山木匠塾だより」を毎月発行し, 地域役員会が地域のお知らせと共に地域全住戸に配布している。また, 防災無線を使用する許可を得て, 現地調査や報告会などの周知を行った。インターネットでは, 京都環境フェスティバル 2020 や, 大学コンソーシアム京都, 日本財団 CANPAN などで団体をアピールした。また, Facebook page や Twitter, インスタグラムにおいて活動状況を発信した。

## 住民からの評価

地域住民からは, 「(ホームステイによって) 閉鎖的な地域が変わった。」「学生さんが地域のステキな所を見つけてくれる。」「大野の事, 思い活動して下さっているのを受け, とてうれしく, 年老いた私たちにはとても力強い事です。」「このような中だからこそ生まれたという成果を期待しています。」などの声が聞かれた。

以上

大野区のみなさん

こんな学生が活動しています

大野屋



求祐館

# mi-mok 展

歴代美山木匠塾参加者の  
アウトプット

2020 入場無料 2/22 14:00-17:00

2/22 → 3/01  
2/23-29 09:00-13:00  
13:00-17:00

Sat. PM.2:00 Sun. PM.3:00 3/01 09:00-15:00

2/29 Sat. クロージングパーティー 15:00-17:00

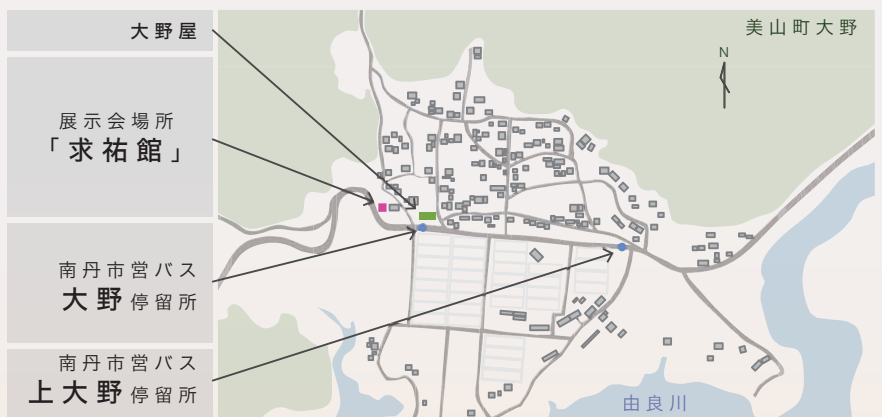


美山町木匠塾 Facebook

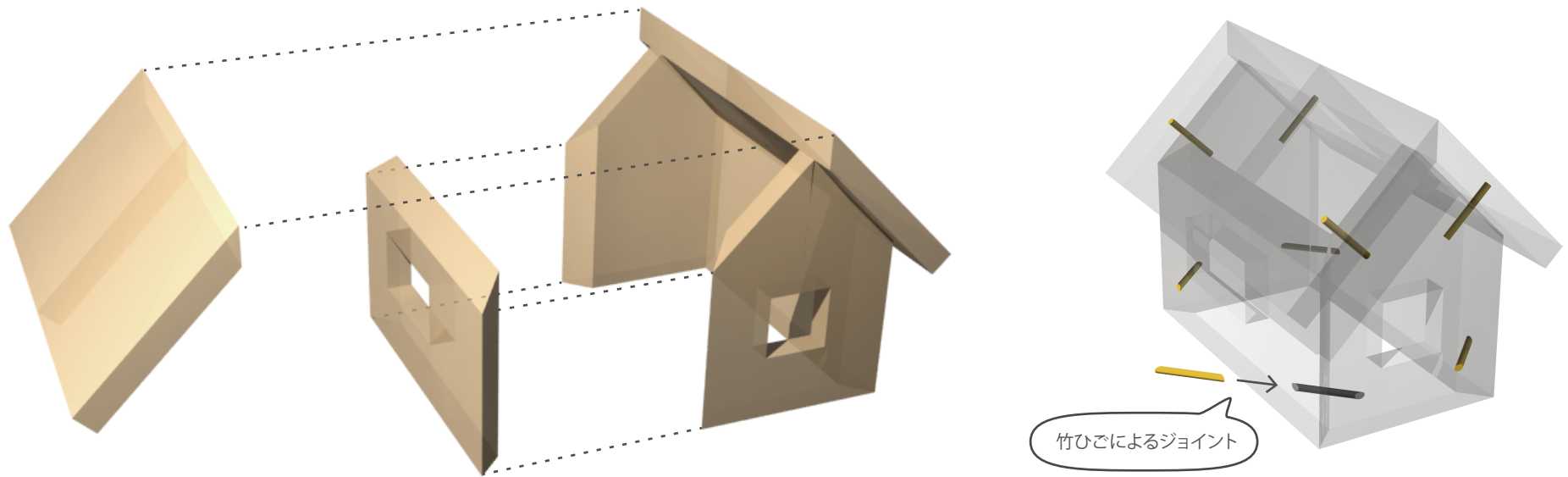
開催場所：

## 求祐館

京都府南丹市美山町大野

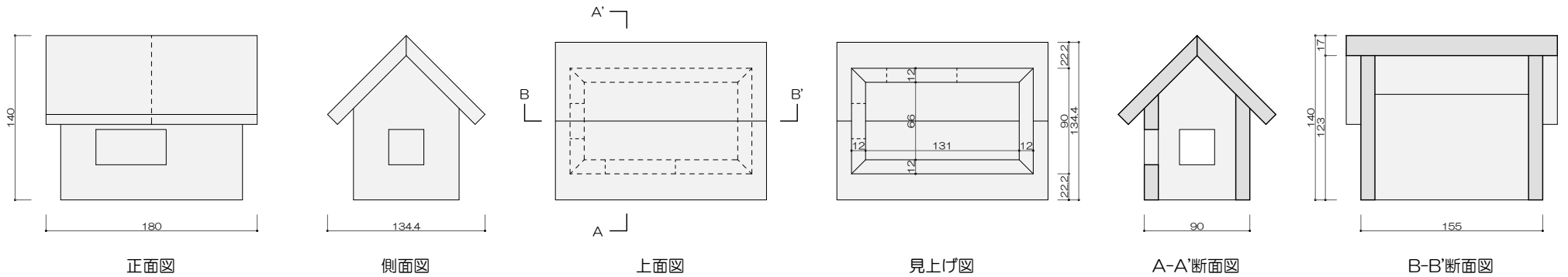
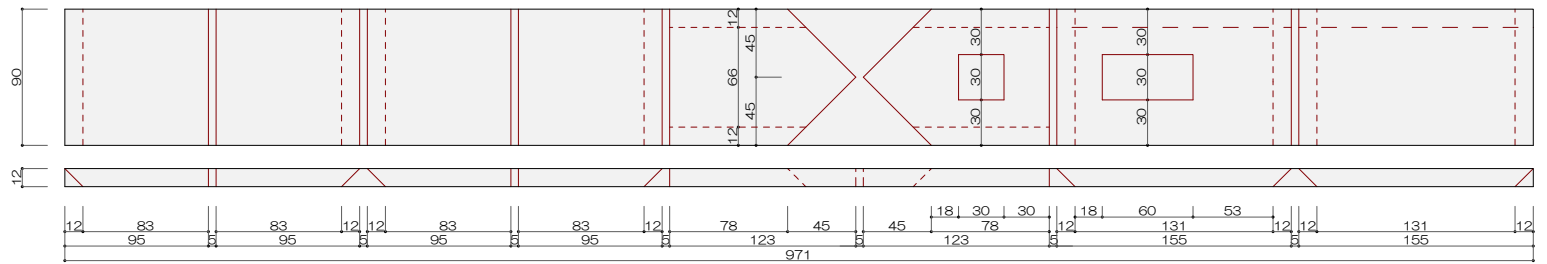


南丹市営バスは本数が少ないため、時刻表を確認してお越しください。  
JR京都駅—JR和知駅（片道990円）/南丹市営バス 和知—大野（片道600円）



木取り図

上面図  
側面図





大野の未来を考える会 (2019年6月28日)



ホームステイの様子 (2019年8月31日)



現地調査の様子 (2019年9月2日)



試作の様子 (2021年3月2日)



制作の様子 (2021年4月4日)



制作の様子 (2021年5月17日)

学年(テーマ)	活動内容	活動目標	2019年度入学生・実施内容	2020年度入学生・実施内容
1年生 (知る)	活動 サポート	活動目的、活動目標を知る。 活動に必要なスキル(CAD,CG等の習得)を養う。 各活動のサポートを行い、制作物活用の手法を学ぶ。	(2019年度)・4月入塾 ・ホームステイ、現地調査合宿 ・絵本「お花さんのおんがえし」作成	(2020年度) ・11月入塾
2年生 (実感)	企画 設計 製作 コンペ	制作物の企画・設計・制作・運用・コンペ提出を担う。	(2020年度) ・木匠塾だよりの作成 ・制作案の作成 ・「小さな木の家」を設計	(2021年度) ・木匠塾だよりの作成 ・現地調査(7月, 8月) ・制作案の作成、設計
3年生 (実践)	運営協力 活動発表 地域活動	合宿などの運営サポートと地域交流イベントを行う。 地域を知る取り組みを実施し、地域への理解を深める。 活動での学びを、各自が実践する。	(2021年度) ・木工ワークショップ ・制作物の配布(9月予定)	(2022年度) ・制作物の引渡し ・木工ワークショップ
4年生 院生以上 (教える)	教育 サポート	各学年の教育、指導、調整から、活動の継承を行う。 講師役となり、学びを深める。 ※CAD・CG・コンペ対策等のレクチャーを実施。	(2022年度) ・活動サポート	(2023年度) ・活動サポート

青字は活動予定、青塗り背景はコロナ禍の影響下での活動、青線は現在の活動位置を示す。



制作の様子 (2021年4月2日)

# 美山木匠塾だより

発行日 2021年1月8日 編集 和氣史佳、吉崎巧真、大穴保野花

あけましておめでとうございます！美山木匠塾です。年末年始はいかがお過ごしでしたか？今回は、今年度の制作についてのご報告をさせていただきます。

### 春休みに大学で制作を行います！

8月の木匠塾だよりでもお伝えしましたが、今年度は大野での合宿を行わず、大学の木工室で製作をすることになりました。また、例年夏季に制作を行っていましたが、今年度は春に行きます。コロナウィルスの流行により、今年度は大学の授業・サークル活動ともにほとんどオンラインで行われています。制作案の検討もオンラインだと、なかなか慣れず話し合いが難しかったです。2回生を中心に頑張りました！

### 制作物案のご意見ご感想をお聞かせください！

今年度の制作は、コロナ禍でも大野の皆様が楽しんでみたいということで評議員さんともご相談し、大野の皆様のご家庭に、木製の小物を配布するという制作の方法となりました。配布に関しては、評議員の皆様が手分けして配布していただきます。そこで、制作物案について、皆様にご意見を伺いたく、今回の号外を発行しました。このお便りの右面、裏面に制作物案の紹介をしておりますので、ぜひお読み下さい！

木材や工具の問題もあるので、どれを作るかはまだ決められませんが、こうしたほうがいいのか、これが欲しいなどのご意見。3案以外にもこんなものが欲しいというご要望をぜひお聞かせください！全てのご要望にお応えすることはできないかもしれませんが、皆様に喜んでいただけたらいいかな、としっかり検討いたします。

今年度は、大野の皆様とコミュニケーションが取れているのが、皆様の様子がわかることと私たちも安心できるので、ぜひお返事をいただけたら嬉しいのです。このお便りに添付しているはがきが、美山木匠塾のメールアドレスでお送り下さい。皆様からのお返事を心よりお待ちしております！

- ティッシュ箱 × 楽器  
良かった点・・・  
改善点・・・
- その他感想など  
作る上でここを気をつけてほしいといったご意見や、その他にも、今までの木匠塾だよりの感想や大野での近況などをたくさんお話を聞かせたいければ嬉しいです！

## 美山木匠塾だより

発行日 2019年2月13日 編集・発行 美山木匠塾 和氣史佳 (1回生)

### 2019 製作合宿

今年度は9月9日から15日まで1週間、大野区公民館に宿泊して制作を行いました。

### ホームステイ・ヒアリング合宿

8月31日から3日、1回生3名がホームステイ・ヒアリング合宿を行いました。今までは単にホームステイを行っていましたが、地域の方々にも喜んでいただくために、今回はホームステイと併せてヒアリング合宿を行いました。

## 美山木匠塾とは？

木匠塾は1991年に岐阜県高根村から始まりました。国土の7割が森林である日本ですが、歴史、山、自然、山村の高齢化・過疎化、森林従事者の減少、国産材の利用低下など、多くの問題を抱えています。それらの問題を解決するためには、地域の若者の定住と森林の育成が必要だということで、木匠塾の活動が始まりました。木匠塾の活動は高根村から始まり、1995年岐阜県加子母村（現在中津川市加子母）、1998年秋田県内子町（現在仙北市角館）、奈良県吉野郡山上村、1999年京都府美山町（現在美山町山山）、2000年山形県村山郡五十鈴町、2003年滋賀県彦根市、兵庫県北野町（現在京都市西区北）、2004年静岡県浜松市と、全国に広がりました。


美山木匠塾は、1999年から美山で活動しています。私たち美山木匠塾が特に大切にしているのは、「地域に密着した作品づくり」です。美山木匠塾が始まった当初は、美山町内の、毎年違う地域で活動していました。しかし、私たちは地域の方と継続的に交流し、関係を深めたいと考え、大野区を拠点に活動させていただくことになりました。

当初は子どもたちが外で遊ぶための遊具が欲しいという要望を受け、遊具を制作していましたが、活動していく中で、たくさんのご意見をいただくようになりました。



美山木匠塾だより（抜粋）

## キャンドル風ライト × ペン立て



キャンドルライト入れとしてもペン立てとしても使える木製のハコです。形は、屋根のない家の形をしています。側面には窓を模した穴が開いています。

### キャンドル風ライト入れとして

LEDライトを入れて、火を使わない安全なキャンドルとして使うことができます。

木製でも安全に使える、小さいお子様のいるご家庭でも安心です。側面の穴から光が漏れる様子は本物の家のように見えて、ミニチュアの雰囲気を感じるライトです。

○癒しの空間を作りだす！  
○複数個集めて美山の雪灯籠のような雰囲気  
△普段から使ってもらえるのは嬉しいのでは・・・

### ペン立てとして

普段は机に置いて、ペン立てとして使えます。全面で作られているので、ペントをオリジナルのペン立てを作ることできます！

○木製でシンプルなので、どこにでも置きやすい  
△角が危ないので、しっかりと面取りをする

### 宛て先

メールアドレス XXXXXXXXXX メールアドレス 係 0000-XXXX-XXXX-XXXX

ご感想、ご質問など いつでもお待ちしております！

住民からのおたより（抜粋）

## ミニくむくむ

### くむくむとは？

同じ形のパーツで三角形のユニットをつくり、それらを組み合わせることで、ジャンブルジムや机やハシゴとして使えます。2016年度の制作物で、現在は天満宮に置かれています。

今年度の制作の提案の一つとして、このくむくむを小さくしてご家庭に配布させていただきます。日常で使える小物にするということを考えています。二種類の大きさを検討しましたので、紹介します！

### ミニくむくむ (大)

用途の例：写真立て、スマホ立て、ボトルラック、タオル入れ  
○材が太いの丈夫。  
△各ご家庭1つ（三角形1つ分）の配布となります。まあ、大きいので、邪魔になる可能性がある。

### ミニくむくむ (小)

用途の例：ペン立て、アクセサリかけ、メガネかけ  
○各ご家庭に3つ配布できるので、組みかえて色々な用途を考えられる。  
△材が細いので耐久性に不安がある。



いつもお世話になっている皆様、ありがとうございます。  
希望は、カホン・ティッシュ箱・ペン立て。  
Simple is Best. ありがとうございました。

無投票は久しぶりで、  
ティッシュ箱を愛用したい。  
日本製のペン立て。  
「だからペン立てとティッシュ箱を一緒に配布してほしい。」  
「今年度は新年早くて、毎日ペン立ては、手帳から出てくると、筆が乾くので、自然の一部にしたいと思います。」

「くむくむ」のパーツは、地域の方からのご意見を参考に、今年度は「くむくむ」のパーツを小さくしてご家庭に配布させていただきます。日常で使える小物にするということを考えています。二種類の大きさを検討しましたので、紹介します！

## ティッシュ箱 × 楽器

楽器としても使える少し変わったティッシュ箱の提案です！  
このコロナ禍において、制作物を通して、少しでも楽しんでいただけたらという思いで考えました。  
三つの楽器を考えたが、どれか一つと組み合わせると他に、カホンとギロとの組み合わせ、のように、複数の楽器とティッシュ箱とを組み合わせることもできると考えました。  
また、配布させていただいた80のご家庭のうち、40家庭はカホン、20家庭はギロ、20家庭はカスタネット、という風な配布の仕方かどうか、という話も出ています。

- ①カホン  
②ギロ  
③カスタネット

基本のティッシュ箱 (イメージ)


- ### ①カホン × ティッシュ箱

↑手でたたいて演奏する  
△演奏時に、箱の中のティッシュを取り出す必要がある。


- ### ②ギロ × ティッシュ箱

↑棒で面をこすって演奏する  
△演奏時に、箱の中のティッシュを取り出す必要がある。  
○でこぼこした手触りも楽しめる。

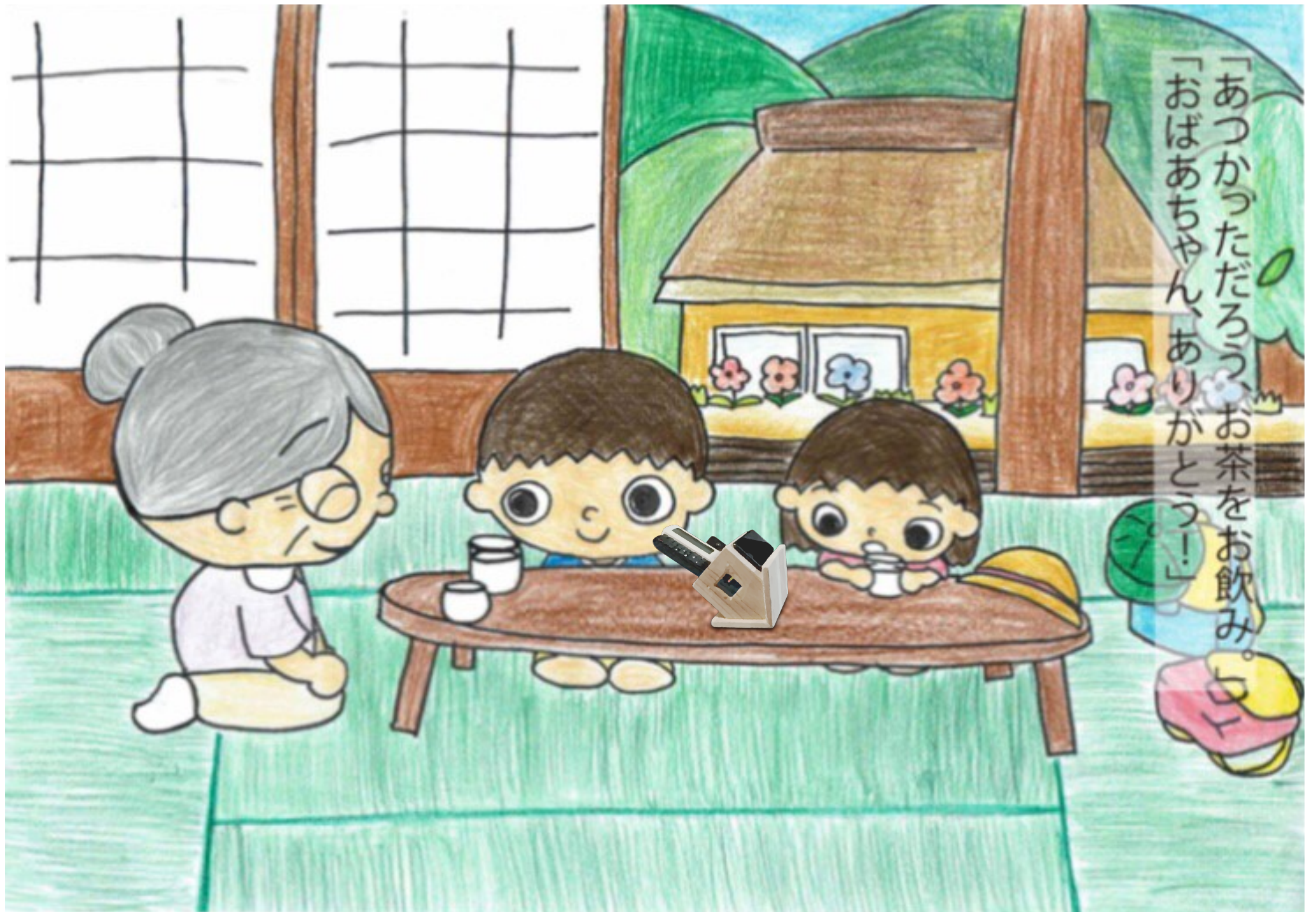

- ### ③カスタネット × ティッシュ箱

↑手でたたいて演奏する  
○ティッシュを箱に入れたまま、演奏することができる。





地域役員とのオンラインミーティングの様子



「あつかっただろーっ、お茶をお飲み。とー  
「おばあちゃん、ありがとう！」